

令和元年山武市教育委員会第8回定例会会議録

1. 日 時 令和元年8月22日(木)午後1時30分
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎(会議室)
3. 招集者 山武市教育委員会 教育長 嘉瀬尚男
4. 議 題

議決事項

- 議案第1号 市議会定例会提出議案(令和元年度山武市一般会計補正予算(第3号))に同意することについて
- 議案第2号 市議会定例会提出議案(請負契約の締結)に同意することについて
- 議案第3号 市議会定例会提出議案(山武市立幼稚園条例の一部を改正する条例)に同意することについて

協議事項

- 協議第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

報告事項

- 報告第1号 令和元年度千葉県教育功労者表彰候補者の推薦について
- 報告第2号 通学路合同点検について
- 報告第3号 いじめ・体罰実態調査(1学期)の結果について
- 報告第4号 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 報告第5号 令和元年度山武郡市小学校体操競技大会結果について
- 報告第6号 第13回山武市民体育祭について
- 報告第7号 世界記録可視化事業「韋駄天に挑戦」について
- 報告第8号 トップアスリートスポーツ教室事業「U-15国際交流サッカーフェスタ」について
- 報告第9号 行事の共催・後援について
- 報告第10号 9月の行事予定について

出席委員	教育長	嘉瀬 尚男
	委員	今関 百合
	委員	清水 新次
	委員	木島 弘喜
	委員	渡邊 礼子

欠席委員 教育長職務代理者 小野崎 一男

出席した職員の職及び氏名

教育部長	小川 宏治
教育総務課長	鈴木 幸宏
学校再編推進室長	川島 美雄
学校教育課長	中村 正浩
学校教育課指導室長	越川 幸夫
生涯学習課長	神谷 英典
スポーツ振興課長	大谷 広貴
子育て支援課長	横地 博
事務局	
教育総務課総務企画係係長	鶴澤 秀己
教育総務課総務企画係主査補	鈴木 秀一
教育総務課総務企画係主査補	齋藤 未希

◎開 会 午後1時30分
教育長 それでは、只今から令和元年教育委員会の第8回定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

◎日程第1 会議録署名人の指名
教育長 日程第1、会議録署名人の指名ですが、本日今関委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

今関委員 はい。

◎日程第2 会議録の承認
教育長 日程第2、会議録の承認ですが、令和元年教育委員会第7回定例会の会議録について、事前に配付をしてありますが、皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)
教育長 異議ないようですので、教育委員会第7回定例会の会議録は承認いたします。

◎日程第3 教育長報告
教育長 続いて、日程第3、教育長報告です。資料の2ページをご覧ください。7月19日から本日8月22日までの内容になります。主だったものを説明してまいります。

7月19日、定例幼稚園長、こども園長・副園長会議がございました。

7月20日、山武郡市民体育大会のグラウンド・ゴルフの部が成東総合運動公園で開催されました。市長の代理として出席してまいりました。

7月22日、職員面談。今年度新たに教育委員会へ異動になった職員との面談を行いました。この後、23日、24日、30日にも行っています。あと若干名残っており、継続して行っていききたいと思います。

7月24日、SNECCの表敬訪問。チャンダシリ高僧とSNECCのダンサーの方達が表敬訪問されました。

7月25日、山武郡市小学校体操競技大会が松尾中学校で開催されました。また、市議会に向けての9月補正予算部内ヒアリングを行い、その後SNECC懇談会が有野実苑で行われました。

7月26日、SNECCとスリランカ派遣研修生との交流会。蓮沼交流センターでスリランカカレー作りをし、今までスリランカに派遣されていた研修生等の各班に分かれて3種類のカレーをつくりました。また、日本のカレーもつくり、スリランカの人達に食べていただきました。

7月31日、社会福祉協議会の山武地域工作教室の作品表彰選考。教育長賞の選考をいたしました。同日、山武市教育大綱の打ち合わせを行いました。

8月1日、東上総教育事務所管理課長が来庁されました。また、山武地区スポーツレクリエーション大会。手をつなぐ親の会が主催しており、障がいを持った方たちの大会が東金アリーナで行われました。その後、山武合同教育講演会。東金文化会館で黒川伊保子氏を講師に招いて、「小中高生でもまだ間に合う、脳育ての黄金ルール」という題の講演をいただきました。

8月4日、山武市ソフトテニス大会。成東総合運動公園で開催され、これに行っております。

8月5日、指定管理者選定委員会。今回は、元気館と市の駐輪場についての指定管理の選定が行われます。その後、山武地区教育長協議会の歓送迎会が行われました。横芝光町の教育長が代わられたことによるものでございます。

8月6日、未来への道1000km縦断リレー2019。蓮沼海浜公園で行われました。

8月15日、ママさんバレーボールチーム「サクシード」が関東大会へ出場するという事で市長に表敬訪問に訪れ、同席をしました。

8月16日、ニュージーランドへの少年海外派遣団の出発式が行われました。帰国は23日でございます。

8月18日、山武郡市民体育大会の総合開会式が東金アリーナで行われました。開会式の後、各会場を市長と私と部長グループ、それから議長、副市長グループと、2つに分かれて各会場を回って応援をしました。

8月19日は庁議がありました。

そして、本日8月22日、教育委員会第8回定例会です。

以上でございます。何かお聞きになりたい点等ございましたら、よろしくお願ひします。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長

本日の議題ですが、議案第1号、市議会定例会提出議案（令和元年度山武市一般会計補正予算（第3号））に同意することについて。議案第2号、市議会定例会提出議案（請負契約の締結）に同意することについて。議案第3号、市議会定例会提出議案（山武市立幼稚園条例の一部を改正する条例）に同意することについて。これらは議会提出前であること。協議第1号、要保護及び準要保護児童生徒の認定について。報告第1号、令和元年

度千葉県教育功労者表彰候補者の推薦について。これらは氏名等の内容が含まれており、公開することにより個人のプライバシーを侵害するおそれがあり、公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたいのですが、いかがでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

教育長 挙手全員です。よって、議案第1号、議案第2号、議案第3号、協議第1号及び報告第1号は秘密会といたします。

◎日程第4 議決事項

○議案第1号

(議案第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長 日程第4、議決事項に入ります。議案第1号、市議会定例会提出議案(令和元年度山武市一般会計補正予算(第3号))に同意することについて、ここから秘密会といたします。それでは、提案理由を事務局からお願いいたします。

教育総務課長から順にお願いします。

※各所属長から、資料に基づき内容を説明。

※審議結果 原案のとおり同意

○議案第2号

(議案第2号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長 議案第2号、市議会定例会提出議案(請負契約の締結)に同意することについて、提案理由の説明をお願いします。

さんぶの森公園管理事務所長、お願いします。

※さんぶの森公園管理事務所長から、資料に基づき内容を説明。

※審議結果 原案のとおり同意

○議案第3号

(議案第3号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長 議案第3号、市議会定例会提出議案(山武市立幼稚園条例の一部を改正する条例)に同意することについて、事務局からの説明をお願いいたします。

す。
子育て支援課長お願いします。

※子育て支援課長から、資料に基づき内容を説明。

※審議結果 原案のとおり同意

◎日程第5 協議事項

○協議第1号

(協議第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長 日程第5、協議事項に入ります。協議第1号、要保護及び準要保護児童生徒の認定について、事務局からの説明をお願いいたします。
指導室長、お願いします。

※指導室長から、資料に基づき内容を説明。

※審議結果 原案のとおり認定

◎日程第6 報告事項

○報告第1号

(報告第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長 日程第6、報告第1号、令和元年度千葉県教育功労者表彰候補者の推薦についてです。事務局からの報告をお願いします。

※指導室長から、資料に基づき内容を説明。

教育長 それでは、ここで秘密会を解かせていただきます。

○報告第2号

教育長 報告第2号、通学路の合同点検について、事務局からの報告をお願いします。指導室長、お願いします。

指導室長 報告第2号、通学路の合同点検についてご説明いたします。別添の資料になります。写真のカラー刷りになってございます。

7月23日火曜日に関係者12名で通学路の合同点検を実施しました。

今年度の点検地区は、松尾・蓮沼地区であります。成東地区で道路の改良工事が実施されており、今後、交通量の増加が見込まれる箇所の点検も

併せて行いました。

1ページから点検箇所、要望、対応策をまとめたものを記載してあります。点検を行った箇所を地図に示してありますので、併せてご覧いただければと思います。

今後の予定ですが、今回の関係者により会議を行い、この点検の進捗状況の確認を行う予定であります。

以上でございます。

教育長

ありがとうございます。別添のカラー刷りの資料がございますので、ご覧いただきたいと思います。気になる点はございますか。これについての検討結果はいつになりますか。

指導室長

令和元年11月8日に、進捗状況を各関係機関と協議いたします。

教育長

いかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○報告第3号

教育長

それでは、続いて報告第3号、いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果について、報告をお願いします。指導室長、お願いします。

指導室長

報告第3号、いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果について、ご説明いたします。13ページをご覧ください。

それでは、1のいじめの認知学校数であります。小学校は12校中10校がいじめの認知をいたしました。中学校については、5校中5校が認知しております。

2の重大事態の発生件数については、ございませんでした。

3の報告件数、認知件数については、昨年度の同時期と比べてほぼ横ばいの状況であります。小学校は257件の報告があり、そのうち180件をいじめと認知いたしました。中学校では、20件の報告があり、その20件全てをいじめと認知いたしました。

4のいじめの現在の状況であります。解消したもの、一定の解消が図れたものを合わせると、小学校で75%、中学校で90%が1学期中にはほぼ解消したと考えられます。しかしながら、小学校25%、中学校10%については、現在も解消に向けて取り組みが継続中であり。この25%、10%という部分を重大なものと認識し、こちらも連携して、解消に向けて2学期

以降、丁寧に取り組みを確認していきたいと思っております。

6のいじめの認知のきっかけについてであります。小・中学校ともにアンケートからの認知が多く見られます。また、小学校では、保護者からの連絡も多く見られました。

いじめの相談窓口については、児童生徒に周知していますが、実際に本人からの相談件数が少ないことを考えると、SOSを出せる機会を持つことができるよう、意識、環境の向上を図っていく必要があると考えられます。

次に、7のいじめの態様であります。その多くが、冷やかしやからかい、悪口やおどし文句、嫌なことを言われたとありました。仲間はずれや無視も行われているいじめの実態となっております。

若干、SNS、ソーシャルネットワークサービスなどを使ったいじめというものもありますが、なかなか表面化しにくく、教師の目には届かないというところではありますが、今後、継続してそういう要素の利用方法の対処を指導していく必要があると考えています。

8のいじめられた児童生徒への対応についてですが、多くは担任や他の職員が状況を聞き、継続的にケアを行っております。小学校は特に養護教諭やスクールカウンセラー、心の教室相談員も聞き取りをして実態の把握に努めております。全て担任と連携して対応しております。

同時に、いじめている側に対しての指導も継続的に行い、早期解決に向けて取り組んでおります。

中学校も同様に養護教諭、スクールカウンセラー、心の教室相談員等の対応が認められております。

担任が1人で抱え込んで対応していないかという部分で、学校全体で組織的に取り組むというように学校には指導、助言をしております。

9の学校におけるいじめの問題に対する日常の取り組みについてですが、職員会議等で共通理解、道徳や学級活動の時間にいじめの問題を取り上げ、指導を行うなどしております。調査の結果、全ての学校で取り組んでおります。

外部機関や地域との連携が日常の取り組みの中で、弱い部分がありますので、今後の検討課題としていきたいと思っております。

10のいじめの実態把握であります。個別面談、全学校で1学期に最低1回は実施しております。アンケート調査についても学期に1回以上行っております。いじめの早期発見のため、きめ細やかな対応を実施しております。

11ですが、校内研修については全ての学校において、いじめに関する研修が行われています。

12の体罰については、今学期も上がっておりません。

17ページから19ページは、それぞれの項目の考察になっております。ご覧になっていただければと思います。

報告は以上であります。

教育長

ありがとうございます。ただいまの報告について、ご覧になっていただきかがでしょうか。木島委員お願いします。

木島委員

統合した各学校について、前年度は別々の調査になっていると思いますが、その辺りの数値比較のようなもので、極端な動きがあったかどうかというのを、もし分析ができていればお聞かせいただければと思います。

指導室長

数の大きな変動はありません。また、内容についても、統合の内容、例えば豊岡小学校の児童が松尾小学校に来たことで、松尾小学校の児童に何か言われたなど、そういう報告は上がっておりません。

木島委員

わかりました。

教育長

ほかいかがですか。渡邊委員、お願いします。

渡邊委員

いじめに対して、一生懸命その対応をいろんな角度からやっていらっしゃると思います。そのような中で、学校に指導してほしいことは、温かい人間関係づくりや居心地のよい学級経営づくりについてです。何か良いアイデアがあったら提案し、指導してほしいと思います。例えば、学校訪問をすると、温かい言葉と傷つく言葉の対比を掲示している学級があります。また、毎月友達の良かった行動や言葉を付箋で貼っていくという取り組みをしている学級もあります。子ども達の目がマイナスの部分探しではなく、プラスの部分を探すように、子ども達が認め合う環境づくりをするようにしてほしいと思います。入学して間もないときなど、お母さんが心配のあまり「今日、誰かにいじめられなかった？」ということを繰り返すと、子どもはどうしても、いじめられたマイナスの部分を一生涯懸命探しますが、「今日楽しかったことはなかった?」、「今日何を頑張った?」、「お友達のがよかったところ探した?」など、プラスの面をどんどん引き出すような質問をすると、子どもはそちらに思考が移っていきます。ですので、ぜひ、温かい環境づくりをしている先生方の情報をどんどん伝えてもらって、まずは学級を居心地の良いものにしてほしいと思います。ご指導をお願いします。

指導室長 ありがとうございます。

教育長 いじめ対応の中で、パソコン、携帯電話というのは、SNSのことだと思いますが、中学校で2件というのは少ないように思います。そのあたりはどうなのでしょう。

指導室長 なかなか目につかない部分が多く、表面に出ておらず、子ども達から言わないという部分もあるので、学校側も、言いやすい環境作りや、モラルなどの指導をしています。

教育長 この考察の中にも、目につきにくい、表面化しにくいなど書いてありますが、目につきにくいからわからないというのは、どうにかしていかねばならないのでしょうか。

指導室長 本市は、いじめ相談アプリ「STOP i t」を導入しており、現在中学生の加入率が約4%で、気軽に相談できる環境ではありますが、なかなか浸透していないのかもしれませんが、4%は決して低くない割合だと思います。

教育長 そうですね。大体5%と言われていました。アンケート等でいじめの認知件数はたくさん上がってきていますが、そこにSNSが入ってきていないということですか。

指導室長 そうです。

教育長 わかりました。

今関委員 よろしいでしょうか。1学期の終わりに中学校で面談を先生としたときも、子どもがたわいもない話をしても、先生が一生懸命にそれを受け取ってくれ、「2学期が始まったら、みんなでそのことについて話し合おう」という雰囲気をつくっていただきました。そのように、先生が真面目に子どもの言葉を受け取ってくれる環境はすばらしいものだと、面談を通して思いました。ありがとうございます。現場はそのように取り組んでくれています。

教育長 いじめの態様について、9番その他の中に、無視されたとありますが、

無視されることは、子どもの受ける影響が大きいように思います。これを、その他で一括りにしてよいのでしょうか。いたづらをされたりしたなどと、同列にしてはいけないように思います。無視されるというのは、ぶつかったり、叩かれたり、悪口を言われるよりも、与える影響が大きいと思います。ですので、もう少しこの辺りを考えてもらいたいです。みんなに無視されるというのは、かなりきついと思います。

ほかに何かありますでしょうか。

渡邊委員

よろしいでしょうか。山武市ではいじめによる不登校の割合はどれぐらいなのでしょうか。

指導室長

いじめによる不登校は山武市の場合はありません。不登校というのが、30日以上欠席であり、15日以上休むと報告が各学校から来るようになっていますが、その15日以上の中にもいじめが原因というものはありませんでした。ただ、細かく見ていくと、やはり嫌なことを言われたことなどが原因で、何日間かは休んだという報告はありました。ただ、それによって30日以上欠席したという事例はありません。また、重大事態というのがあり、いじめが原因で不登校になった場合は、重大事態と捉えて、山武市教育委員会や千葉県に報告して詳細を調べなければなりません。現在、山武市では報告はありません。

教育長

不登校にはならなくとも、今の話のように何日間か休むきっかけになっているということは、重大事態と判断しないのですか。

指導室長

休みが続いてしまったら、そこで重大事態として捉えます。ただ、数日休んでしまうということは確かにありましたが、そこから解消して、学校にきています。

教育長

わかりました。

木島委員

1点よろしいですか。夏休みが終わるタイミングというのは、何日かでも、いじめ等がきっかけで休んだ子にとっては、すごく精神的にナイーブな時間だと思いますので、しっかりとサポートしていただきたいです。

指導室長

その辺りも含めて、初日の9月2日の状況については、重く受けとめて、家庭訪問などをしようと考えています。

木島委員 よろしくお願ひします。

清水委員 夏休み明けの問題というのは非常に重要であり、おそらく文科省からも、そういう部分について通知がきていると思いますので、特に休み明けの問題について、しっかりと学校側で対応してもらいたいと思います。

また、いじめの問題というのは、自分の経験からの見解ですが、例えば、お弁当を持ってこられないなどといった、家庭的な問題を抱えている子どもが、他の子に嫌がらせをするなどしていたように思い、そのような部分は、いじめの大きな原因になっていたように思います。ですから、家庭的な問題などといった部分は、今の山武市の状況を見ても、数が少ないとは思えません。ですから、このような分析だけではなく、もっと細かいところに注意していく必要があるのではないのでしょうか。そういう部分は、本日の要保護・準要保護児童生徒の協議事項からも、たくさんあるのだと思います。ですから、そのような子どもたちの状況などをしっかりと把握していく必要があると思います。夏休み明けの問題を含めて、しっかりとした把握が必要だと思ひます。よろしくお願ひします。

教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○報告第4号

教育長 報告第4号、平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について、報告をお願ひいたします。

指導室長、お願ひします。

指導室長 報告第4号、平成31年度全国学力・学習状況調査の結果についてであります。資料は20ページになります。

今年度、平成31年度4月18日に本年度の全国学力・学習状況調査を実施しました。山武市においては、小学校12校、6年生374名、中学校5校、3年生365名が調査に参加しました。山武市の結果の概要として、国語、算数・数学、中学校は英語も実施しましたので、平均正答率、児童・生徒の質問紙、学校質問紙の傾向について、特徴的な内容について、今後、保護者に連絡するとともに、学校での指導改善に活かせるように通知をしたいと思っております。

昨年度は、例えば9月の定例会にご報告いたしまして、その後、保護者に通知をしたのですが、なるべく早目に通知をして、2学期に早目に改善

をするために1カ月前倒しで今回報告させていただいております。

1番目の教科別の平均正答率の状況です。今年度は、今まで国語、算数・数学はA・B問題と2種類で実施していたのですが、今年度からA・Bの種別がなくなって、基礎と応用を一体的に問う問題となりましたので、昨年度と比べると、問題の内容が変わりました。また、中学校で初めて英語を実施し、「聞く・話す・読む・書く」の領域について調査をしました。

ただし、「話す」テストにつきましては、全中学校にヘッドホンとUSBが国から配布され、話した事を録音して、そのデータをUSBに入れて提出したのですが、パソコンやタブレットの環境によって採点ができなかった事例が市内の数校でありました。環境によって録音状態が悪かったということで、これは国から各保護者におわびの文書を配布することになっておりますので、今回「話す」という部分での採点は入らないことになります。

(1)の小学校の結果ですが、全国に比べ国語は-1.8ポイントであり、問題の形も変わり、今までの約5ポイントの差からは、国語は上昇しております。算数については、全国に比べ-5.6ポイント、昨年度と同様の形になっております。

中学校については、国語は-3.8ポイントではほぼ昨年度と同様です。数学については、-8.8ポイントであり、昨年より差が広がっています。初めて実施した英語については、全国・県ともに-4ポイントとなっております。小学校、中学校に関係するものとして、やはり山武市としては算数・数学が弱いというのが例年どおりになっています。

表とグラフをご覧ください。2の児童・生徒質問紙調査による家庭生活の傾向ということで、朝食を毎日食べているか数年調査をしていますが、この6年生に限っては、ずっと上昇傾向にありましたが、今回、全国平均から数ポイント落ちてしまい、各家庭で中学校も小学校も朝食は大事だという指導をしてきた中で、残念な結果だと受け止めています。

裏面をご覧ください。(3)学校の授業以外に普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか。(塾等含む)という調査についてです。やはり小学校を見ると、1時間以上勉強すると答えた生徒が全国平均の66.1%に比べて47%ということで、全国平均と比べると落ちています。1時間というのは、どこの学校も、家庭学習の時間を10分掛ける学年と出しており、また市の家庭学習の手引きの中でも10分掛ける学年という形ですので、小学校6年生になると通常60分はやっているところですが、まだまだ足りないと感じています。

また、地域性もありまして、都市部は塾等通っている児童生徒もおり、そのような際にはポイントが上がってくるのかと思いますが、小学校につ

きましては、なかなか塾に行けない状況や、経済的な理由があるのだろうと感じています。この辺りについては今回、学力向上推進校がありますので、家庭や学校に詳しい内容のアンケート調査を今後実施する予定になっております。特に小学校の、全くしないというのは5.1ポイントであり、平均と比較すると倍以上ありました。

続きまして、3番の学校質問紙調査についてです。これは学校の取り組みの傾向を見るものでありますが、山武市は小学校低学年から学習規律について、学校で鉛筆の持ち方から始まって、姿勢、時間等も指導しておりますので、この指導に関しては子ども達も全国に比べ、そういう規律が学力に結びつくという意識は高く、子ども達が意識しているということは身についていると感じています。

また、(2)の言語活動については、学校全体で取り組んでいるかというところですが、この問いではありませんが、特に読書が好きなどという部分も多くなってきており、そこが国語の学力に繋がっているのかと考えております。

最後に、(3)の子どもの姿や現状、調査などのデータ等に基づき、教育課程を編成し、実施・評価・改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますかという問いについてです。やはりこのような調査などの結果を検証し、それを改善しているかという意識が低いという結果が見られましたので、改善していかなければならないと感じました。

今回、これは7月31日、8月1日に新聞に載っていましたが、8月の上旬に教務主任、研究主任を集めて、今まで各自で分析を行ってもらっていましたが、専門的な分析の方法を聞いてもらうため、専門の業者にお願いして研修を行いました。また、実際に学校で行ってくださいということで、今度は管理職にお願いをしました。しっかり分析をして、学校のウイークポイントをはっきりさせ、改善し、意識してもらいたいと考えています。教育委員会としても、もう少し市の傾向を分析して活かせればと思い、今日も指導主事が文科省に、この分析についての研修に行っております。それをもとに、市全体の分析をして反映できればと考えています。

以上です。

教育長

ありがとうございます。いかがでしょうか。

木島委員

よろしいですか。分析について、いつも全体で平均点を出しているのだと思いますが、その中で得点が低い子というのはどうしてもいると思います。それが多いか少ないかで結果を出してしまうと、せっかく先生方が一生懸命やっていたとしても、数値に現れにくい気がします。ですので、上

位半分の子どもたちの平均を出してもらおうなど、文科省に提言してほしいと思います。

また、問題を間違えた子どもたちに対してのフォローはできているのでしょうか。回答用紙は返ってこないとは思いますが、間違ったかどうか、授業の中で復習するということはしているのでしょうか。

指導室長 似ている問題に関しては、復習しています。

木島委員 そこが一番大事になってくる場所ですね。不正解だったところは、ずっと同じところで引っかかるものだと思いますので、例えば、子どもたち同士のグループ学習を行い、この前の学力テストをみんなでもう一度解こうというようにすると、正解した子はさらに身につきますし、不正解だった子も、同じクラスメートに教えられた方が、覚えが早かったりする場合がありますので、その辺りを工夫すれば、次回に繋がっていくのだと思います。

指導室長 例えば、小学校の算数でしたら、山武市の場合は小数の部分や、足し算と掛け算が混じっている部分は、全国より2ポイント差がついているところですので、その部分を含めて学校全体でもう一回これを振り返って下さいという指導はしております。振り返ってみると、3、4年でその部分でつまづいていたとのことでしたので、指導方法の改善を図る良い機会にしております。

今関委員 普段の小テストでも、例えば80点しか取れなかったら、その問題はきちんと解けるようにして、100点になって返ってきています。

木島委員 わかりました。

渡邊委員 よろしいでしょうか。読書好きな子を増やしたり、いろいろな言語活動を充実させたりすることによって国語の学力が良くなってきているというのは素晴らしいと思いました。しかし、算数の学力はずいぶん差がひらいてしまったところが気になりますし、算数は階段のように定着させていかないと、どんどん差が広がってしまいます。そこで、GAAでは夏休み子ども教室や、算数検定に向けての勉強、ドリルタイムの応援などを行っていることを、PRしていただきたいと思います。GAAは、子どもたちを少しでも救っていきたいなと思っていますので、市でもそれを応援していただけたらありがたいです。

清水委員

よろしいでしょうか。学力テストが学校の全てではないともちろん思っていますが、やはり学校の基本は学力を上げて、社会に出すというのが基本的な役割だと思います。ですから、今日学校が、いろいろな役割を求められており、以前であれば家庭でやっていたことも含めて求められているということで、過重負担になっているというのは十分理解できますが、それにしても、やはり学力をつけてあげるというのが基本中の基本だと思います。

その部分において、千葉県自体も全国平均に比べてやや低いです。その千葉県に比べてもさらに低いということになると、やはりこれは重大な問題だというふうに我々も意識して、どうしたらいいのかということをもう一度考えていかなければならないと思います。従前どおりのことをやっていたら、この事態は改善できないと思います。ですから、私はこの部分をもっとやらないといけないのではないかと思います。指導室長も非常に意識的にやっていただいて、心強いなと思っておりますが、学校側がついてこれないというのが現状だと思います。だとすると、もう少し目の覚めるようなことをやっていかなければいけないと感じています。

ですから、このことが及ぼす影響というのを、先生方や学校側に危機意識持っていただいて、この結果を授業にどのように反映させていくのかということが、やっぱり一番重要かと思えます。その部分をどう徹底させていくのかということが、教育委員会としての役割だと思います。これから学校訪問もありますから、私も積極的に質問していこうと思っておりますが、指導室長の発案で、抜本的な、今までと違ったことをやっていただきたいと思えます。

費用をかけても、学力を上げるためには、やむを得ないのではないかと思います。良い発案をしていただきたいと思えます。

渡邊委員

おそらく、どの学級の先生も一生懸命取り組んでいると思います。学力テストの点数を上げて、成果を残したいということであれば、以前成東小学校を訪問したときに、教務の先生が学力テスト対策をしており、結果も良くなっているという話を聞きました。やはり、結果が良いところはそういった対策もしていると思います。ですので、学力テストに向けてどういうふうに取り組んでいくかも大事だと思います。

今関委員

頑張っって取り組んでいた学校が、当日の子どもたちの体調不良により、良い結果が出なかったという例もあるので、テストの点数自体は何とも言えませんが、家庭学習を「全くしない」割合が5.1%だったということは、

学校でいくら指導しても、家に帰って全くやらなければ、成績は伸びないと思います。ですので、結局は家庭学習をあまりやらない子たちがいれば、いくら頑張っている子たちがいても、平均点は上がらないと思います。また小学校では、55%の子たちが「学校に行くのは楽しい」とありますが、中学校だと39%に下がっている理由の1つとしては、中学校は小学校よりも、勉強の順位等がわかるようになることだと思います。そのような際に、全く勉強しない子でも、1つでも得意なことや、何か1つでも夢中になれたりすることなどがあって、家に帰って机に向かう時間ができるようになったらいいなど、この結果から思いました。

清水委員

深刻なのは、小学校よりも中学校のほうが、差が広がっていることです。小学校はまだ、学力・学習状況調査の結果も、ある程度国や県に近い部分がありますが、中学校に行くときにさらに広がってしまっているということ自体が非常に深刻な問題だと思います。中学校のほうが、勉強していないと、結果が身についていないということです。その辺りをしっかりと検証しておく必要があると思います。

また、中学校の次は高校ですので、格差が広がるということ自体は、非常に深刻になっていると思います。

今関委員

マイナスの積み重ねですね。

清水委員

もちろん、学校は努力しているとは思いますが、家庭での勉強の時間や、家庭の教育の問題などはトータル的な問題なので、地域の特色を踏まえた問題も、教育委員会としての対応が必要だと思います。学校の勉強時間が足りないから仕方がないというのではなくて、それに対してGAAなどを活用して、学校にいれば勉強できる機会をもっとつくってあげても良いと思います。

教育長

今年度、指定校として学力向上を目指しているのですが、その成果がどのように出るかによって、今後の対策を考えていきたいと思っています。これは、全国の平均点の結果を公表します。結果だけ出しても良い、悪いと言うことで終わってしまうように思います。

ですので、例えば、県の結果は3月に出ていますので、学年は違いますが、それも併せて、こういう変化があるということを公表してもよいと思います。また、異動等によって各学校の校長が半数ほど変わっていますので、早目に、この結果を基に、また教育委員の皆さんと協議会を開きたいと思っていますが、いかがでしょうか。

- 木島委員 ぜひ、お願いしたいと思います。
- 教育長 令和元年11月と令和2年3月を予定していますが、3月は、各学校の校長の異動の関係で、例年4月に実施をしています。今年は4月に、新たに配属された校長と行いましたので、11月でよろしいでしょうか。
- 木島委員 はい。半年に1回ぐらいのペースでやっていきたいですね。
- 清水委員 何か一つ特別な、学校側が驚くようなことをやってもよいと思います。
- 教育長 学力向上の指定をしている学校に対して、テスト前に、重点的に対策を行うというのはどうですか。試験対策を行って、得点上がるか検証できればと思います。
- 木島委員 学力テストについては、中間、期末テストの勉強と、模擬テストの問題がまるで違うのと同じ現象ですね。ですから、中間、期末テストに備えて学力を十分養うという勉強しかしていないと、模擬テストのときに、良い点がとれないということになりますので、模擬テスト対策もしておかないといけないように思います。
- 渡邊委員 現場で授業を見ていると、対話的な授業をなさっていて良いと思います。しかし、学力テストの結果を見ると、テスト前に、盛んに類似の問題を沢山やった学級が、結果的にはいい点をとっています。
- 教育長 それを進んで行っていけばよいのではないのでしょうか。
- 指導室長 県から出ている傾向問題は、各学校で前年度もやっています。このテストの対策プリントが單元ごとに出ており、それに積極的に取り組んでいます。
- 渡邊委員 おそらく、学校や担任によって温度差があり、その取り組みは全然違うと思います。
- 今関委員 このテストは4月にあるので、春休みに対策をしないと成績は上がらないと思います。

教育長

指定校は、今の小学5年生、中学2年生のうちに、その対策をしっかりとやっていかなければなりません。これは、学校の先生方や担任によって差があるというお話もありましたが、我々としては、校長が自分の学校の成績を上げるという意識をしっかりと持ってほしいと思っていますが、その意識がなかなか持たれないという現状があります。

毎年、協議会を開いていますが、半数の校長が異動などで入れ代わっていくので、なかなか継続が難しくなってきます。その辺りの意識改革をしっかりと行くと、必ず上がると思います。

清水委員

一つ提案としてよろしいでしょうか。新しいコミュニティースクールとして、学力向上、いわゆる学校と地域が共同で色々なことをやっていくような仕組みをつくったら良いのではないかと思います。

教育長

学校運営協議会の委員やメンバーの中にそういったことを強く言ってくれる人がいると良いと思います。

この調査結果で家庭学習が少ないということは、保護者の意識がそこまでいっていないということなので、そこから改善すべきだと考えています。そのためには、学校運営協議会など、地域の中でそういったことを、問題意識として共有して進めていくことが必要になってくると思います。

ですので、学校の先生方の授業だけではなく、他の部分で取り組むべきだということをはっきりしていますので、どのように実行していくかが重要だと思います。

清水委員

学校の先生方は負担が大きいと思いますので、これ以上負担を増やすような取り組みは、なかなかできないと思います。そうすると、地域の人たちでどのようにカバーしていくかが問題になると思います。山武市らしい新しいものを、その部分でやっていただきたいです。

教育長

GAAにその辺りをお願いしたいです。

今関委員

夏休みの講座も、できれば小学校区で、小規模でもやっていただけると助かります。前回は蓮沼地区がありませんでした。

教育長

やりたい人だけ集めるのではなく、学校単位で、その学年に集中的に対策を、GAAの先生に入ってもらって、しっかりとやってもらうことも考えてもよいのかと思います。

渡邊委員 家庭学習についてですが、最初の保護者会では、大抵保護者の方は残りますがそれを逃すと、参加者が非常に少ないので、4月の保護者会が働きかけの一番の好機だと思います。

学校によって、校長先生も工夫して家庭学習についてもプリントを出していますが、それを市でも何か統一して出すと良いのではないかと思います。

指導室長 市としては、家庭学習の手引きというのはホームページに載せて、学校にも周知しています。

今関委員 中学校も小学校も、家庭学習ノートというものはあるのですが、おそらく、この5.1%は何もやらないのでしょうか。

渡邊委員 何か工夫が必要ですね。

教育長 学力向上については、また改めて協議会等の場で議論しながら対策を進めていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

○報告第5号

教育長 続けて、報告第5号、令和元年度山武郡市小学校体操競技大会結果について、お願ひします。

指導室長、お願ひします。

指導室長 22ページをご覧ください。報告第5号、令和元年度山武郡市小学校体操競技大会の結果についてです。

7月25日、木曜日に松尾中学校を会場に実施しました。22ページは男女の個人、続いて、裏面が団体、最後に、24ページが男女の団体総合の結果になっております。団体は、成東小学校が8位に入賞して、団体で出たのは成東小学校、松尾小学校、睦岡小学校になっております。

以上であります。

教育長 ありがとうございます。これについてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○報告第6号

教育長 続いて、報告第6号、第13回山武市民体育祭についての報告をお願ひし

ます。

スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長 第13回山武市民体育祭の開催について、報告します。資料25ページをご覧ください。

今年度は10月13日、日曜日、成東総合運動公園の陸上競技場で開催しますので、委員の皆様の出席をお願いしたいと思います。

前年度からの変更点としましては、小学校の統廃合により、松尾支部と豊岡支部が合併し、12支部の対抗戦となりました。また、今年度は、この後の報告にございますが、世界記録可視化事業「韋駄天に挑戦」ということで、これを体育祭と併せて実施する予定でございます。

報告は以上です。

教育長 ありがとうございます。10月13日の予定ですので、よろしく申し上げます。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○報告第7号

教育長 報告第7号、世界記録可視化事業「韋駄天に挑戦」について、報告をお願いします。

教育総務課長、お願いします。

教育総務課長 資料28ページをご覧ください。世界記録可視化事業「韋駄天に挑戦」です。

スポーツ振興課長からもありましたが、今年度の体育祭につきましては、元オリンピック選手、塚原直貴氏をお呼びして、27ページにあるプログラムの3番、7番、20番の70メートル競走、35歳以上、100メートル競走、高校生を除く一般男子、100メートル競走、男女混合ということで、3種目を一緒に走っていただこうと考えています。終了後、昼休みにサイン会、交流会を開催する予定です。

塚原氏は、2008年北京オリンピック、400メートルリレーの銀メダリストでございます。その他にもたくさんの成績があり、全盛期、自己最高記録は、100メートル10秒09でございます。

また、雨天などで体育祭が中止になった場合は、成東東中学校の体育館で、オリンピック教室を開催いたします。

雨天ですので、人集めということで、中学校や、陸上部は山武中学校と成東中学校しかないということですが、できるだけ声をかけて人を集めようと思っています。その場合には、速く走る走り方や、オリンピックに出場したことなどを話していただく予定となっています。

今年度は「韋駄天に挑戦」ということで、NHKの大河ドラマの「いだてん」と蓮沼村出身の秋葉佑之さんにかけて、「韋駄天に挑戦」というタイトルをつけさせていただきました。

報告は以上です。

教育長

ありがとうございます。これについてはよろしいですか。

世界記録可視化事業ということで、今まで各学校に、世界記録の幅跳びや高跳びなどの記録を表示してありますので、そういったものも併せて体育祭の会場で掲示してもらいたいと思います。

○報告第8号

教育長

続いて、報告第8号、トップアスリートスポーツ教室事業「U-15国際交流サッカーフェスタ」について、報告をお願いします。

スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長

それでは、資料の29ページをご覧ください。トップアスリートスポーツ教室事業「U-15国際交流サッカーフェスタ」は、参加を予定しておりましたブラジルサッカークラブチームが、渡航費用が調達できなかったため来日ができなくなり、7月21日に予定していましたブラジルクラブチーム指導者による小学生サッカー教室を中止し、23日から25日のU-15国際交流サッカー大会は、国内各地から参加した9チームと、山武市選抜チームによるサッカー大会ということで開催されました。サッカー大会の山武市選抜チームの成績は、10チーム中9位ということで、去年と同じ成績でございました。

それで、ブラジルチームと指導者の派遣につきましては、一般社団法人国際スポーツ文化交流協会というところに業務を委託しており、この業務を履行できなかったため、契約書の規定に基づき、契約の解除、並びに違約金の請求を行う方針でございました。

そのところ、受託者が弁護士を伴い、大会開催にかかった経費などについて、業務委託料の支払いを求めるために、相談ということで来庁されました。

こちらとしましては、委託業務の成果となるものが何一つないということで、委託料を支払う義務はないと考えておりますが、今後、弁護士に相

談しながら対応を検討していく予定でございます。

報告は以上でございます。

教育長

ありがとうございます。この件について、よろしいですか。

ブラジルのチームが来られなくなったということで、大会そのものは実施しましたが、本来の国際交流の仕事ではなくなってしまったので、これについて、スポーツ振興課長から報告があったとおり、今後、委託業者と調整を行っていきます。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○報告第9号

教育長

報告第9号、行事の共催・後援について、報告をお願いします。

教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

資料30ページです。報告第9号、行事の共催・後援につきましてです。

行事の共催は4件です。これは全て山武教育研究会のものです。1番から理科部会による科学作品展、造形部会による図画工作美術作品展、習字部会による書き初め優秀作品展、技術・家庭科会によります小学校家庭科、中学校技術・家庭科作品展の4件を承認しております。

また、後援は1件です。こども防災協会によるこども防災&国際交流キャンプということで、千葉県では手賀の丘少年自然の家で開催されるものです。

内容についてご審議いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

教育長

ありがとうございます。共催が4件、後援が1件でございます。関連資料が添付されておりますので、ご覧ください。質問等ございますか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長

ありがとうございます。

○報告第10号

教育長

それでは、続いて、報告第10号、9月の行事予定について、各所属長から、順次報告をお願いいたします。

教育総務課長

資料46ページ、9月の行事予定です。

教育総務課です。19日、教育委員会第9回定例会を予定しております。

また、成東中央公民館についてです。8日、芸術文化協会による民謡部会発表会、それから、22日、日曜日にカラオケ部会の発表会をのぎくプラザで開催する予定です。

以上です。

学校教育課長

続きまして、学校教育課です。3日、定例の校長会、4日、いじめ問題対策連絡協議会が予定されております。7日、中学校の体育祭、9日、東上総教育事務所の所長訪問ということで、成東小学校を予定しております。14日、小学校の運動会です。18日、東上総教育事務所の指導室訪問、蓮沼中学校を予定しております。19日、定例の教育委員会議の午前中ですが、教育委員の学校訪問、前回は成東東中学校を訪問しております。28日、小学校の運動会です。

配付資料として、前回の定例会議でご検討いただいた運動会・体育祭の参加者の一覧を載せてございますので、ご確認をお願いします。当日ですが、開会式では紹介のみということでお願いしたいと思います。

また、併せて、雨天等による順延の場合は、事前に連絡をさせていただきたいと思います。なお、予定どおり実施の場合につきましては、特に連絡はいたしませんのでよろしくお願いたします。

学校教育課は以上でございます。

学校再編推進室長

続きまして、学校再編推進室です。開催予定の会議についてご報告します。

日向小学校と山武西小学校の統合準備委員会でございます。4日、総務部会を開催予定でございます。こちらは校名候補について検討するものでございます。PTA通学部会は、バス路線の確認を行ってまいりましたので、その報告を9月18日に行う予定です。なお、今後、9月中に代表者会議、そして、10月中には全体会議を行いまして、統合準備委員会の校名候補の案を決定する予定でございます。

以上です。

生涯学習課長

続きまして、生涯学習課です。生涯学習課からは、4日、第2回の松尾小学校学校運営協議会、コミュニティースクールの会議を開催いたします。今回は学校の支援について話し合う予定です。12日、山武西小学校の放課後子ども教室、きらきら広場を開催いたします。14日、緑海小学校のみどりみ放課後教室を開催いたします。最後に、19日、ひなたっこ広場、こちら、日向小学校の放課後子ども教室を開催する予定でございます。

以上になります。

スポーツ振興課長 続きまして、スポーツ振興課です。28日、歩け歩け大会を開催します。今年には養老溪谷で、約9キロメートルのコースを予定しております。
以上です。

子育て支援課長 続きまして、子育て支援課です。20日、まつおこども園の保育等参観訪問がございました。また、同日に、園長・副園長会議が市役所で行われます。また、28日、小学校の運動会がございましたが、こちら、まつおこども園の運動会が8時半からまつおこども園、こちらは行事予定にございませんが、残りのこども園、また、日向幼稚園は10月5日に開催を予定しているところです。ご出席よろしく申し上げます。
以上です。

教育長 以上でよろしいですか。

学校教育課長 1点ご報告いたします。山武中学校の柔道部についてです。
昨日の新聞に出ましたが、全国中学校柔道大会において、近藤耀聖さんが50キロ級で優勝しました。それから、伊澤直乙斗さんが73キロ級準優勝でした。この2名が全国で1位と2位ということで、非常に喜ばしい話であります。
以上でございます。

教育長 ありがとうございます。それでは、その他に報告すべき事項があればお願いします。
スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長 本日、お配りした資料に、第70回山武郡市民体育大会総合成績表がございますので、こちらをご覧ください。
今月18日を中心に開催されました、山武郡市民大会の成績が出ましたので報告させていただきます。一番下の欄が総合成績になりますが、大網白里市が優勝、東金市が準優勝、山武市は第3位という結果でございました。
以上です。

教育長 ありがとうございます。昨年に引き続き、今大会でも優勝を目指していたとのことですが、惜しくも3位ということでした。
以上でよろしいですか。特にないようですので、教育委員会第8回の定

例会を終了いたします。お疲れさまでした。

◎閉 会 午後3時00分